

「そうだ、映画をみよう！そして、映画について考えてみよう！」vol.1

映画監督 李相日と語り合おう！

『フラガール』（2007）、『悪人』（2010）、『許されざる者』（2013）

現代日本映画の第一線で活躍する監督・李相日。

李監督はどのように脚本や演出を組み立てて、俳優やスタッフたちとコラボレーションしているのか——

圧倒的に力強く、かつ繊細で美しい映画表現の方法に迫ります。

学生のみなさん、地域のみなさん！世界的な映画監督と対話できる、貴重なチャンス。

ぜひこの機会に、李監督と一緒に映画について考えてみませんか。

第1日目 ムービープラス1

@ガーデンズシネマ

8/2(土) 14:30~17:30

『許されざる者』トーク付き上映

李相日監督 × 伊地智啓 (映画プロデューサー)

一緒に映画鑑賞後、トークを行います。

会場：ガーデンズシネマ (39席)

(天文館マルヤガーデンズ 7F)

料金：一般 1,800円 / シニア 1,600円 / 学生 1000円

※ 要予約 (通常学生 1500円のところ)

主催：(社) 鹿児島コミュニティシネマ

共催：鹿児島大学法文学部人文学科 中路武士研究室

予約・問い合わせ：ガーデンズシネマ

TEL / FAX 099-222-8746 <http://kagocine.net>

許されざる者 8/2(土)~8(金)上映

舞台を明治時代の北海道に移し、イーストウッドの傑作を翻案、映画化。

出演：渡辺謙、佐藤浩市、榎本明、柳楽優弥、忽那汐里
2013 / 日本 / 2時間5分

gardens' Cinema



profile 李相日 (り・さんいる) 監督プロフィール

1974年生まれ。神奈川大学卒業後、日本映画学校(現・日本映画大学)に入学。卒業制作として監督した『青〜chong〜』(1999)で、ぴあフィルムフェスティバルグランプリ他4部門を独占受賞。ぴあスカラシップ作品『BORDER LINE』(2002)でも高い評価を得て、伊地智啓プロデューサーにより村上龍原作・宮藤官九郎脚本『69 sixty nine』(2004)の監督に抜擢。その後、『フラガール』(2006)で、キネマ旬報ベストテン・邦画第一位、日本アカデミー賞最優秀作品賞、芸術選奨新人賞受賞。『悪人』(2010)では日本アカデミー賞をはじめ、キネマ旬報ベストテン、毎日映画コンクール、報知映画賞、日刊スポーツ映画大賞、山路ふみ子映画賞などを独占。主演の深津絵里はモントリオール世界映画祭で主演女優賞受賞。昨年の『許されざる者』(2013)は、米国アカデミー賞受賞作品が日本でリメイクされた初めての作品。

第2日目 トークセッション

@鹿児島大学

8/3(日) 14:00~16:00

李相日監督 × 中路武士 (鹿児島大学准教授)

『許されざる者』を中心に、映画の演出方法や製作現場の話を行います。質問も募集します。

会場：鹿児島大学郡元キャンパス

法文学部1号館2階201講義室(228席)

料金・申込：入場無料 事前登録無用

主催：鹿児島大学法文学部人文学科 中路武士研究室

共催：(社) 鹿児島コミュニティシネマ

特典：参加学生はガーデンズでの鑑賞料金を特割900円に！

問い合わせ：鹿児島大学法文学部人文学科 中路武士研究室

TEL / FAX 099-285-8909 nakaji@leh.kagoshima-u.ac.jp